

市民から市長への手紙

【目次】

- 1) うたつぐみさん 50代女性
写真：三ツ沢公園の野鳥
- 2) 「僕の木はどうなってしまおうの？」 70歳
- 3) ██████████ 小学校6年生
- 4) 中学2年生
- 5) 9歳
- 6) ██████████さん（2歳）親子
- 7) 「やかつはたのしいよ」
- 8) ██████████ 小学校1年生
- 9) 60代主婦
- 10) ████████さん
- 11) 70代自営業
- 12) 20代学生
- 13) ████████さん（13歳）
- 14) T.Oさん
- 15) 「公園風景」

注：3) 以降はクリアポケットに手書き原稿を収録。
手書き原稿の裏面にナンバリングあり。

三ッ沢公園に3万人規模のサッカースタジアム建設の計画—このニュースを初めて目にしたとき、一瞬心臓がとまりそうになった。というのも決してオーバーな表現ではない。

少なくとも、歩いて3分の住宅地に15年以上住むわたしにとって、三ッ沢公園はまず、起きて最初に目にする存在—窓を開ければ大きなケヤキとヒマラヤスギ、クスノキやイチョウ、今年は色づきの遅かったとりどりの紅葉、黄葉が目覚まさせてくれる森。薄明るい時間から遠く近くに耳に飛びこんでくるシジュウカラやヒヨドリ、カラスや秋のモズの高鳴き。

通勤にすこし早く家を出ては、足元にちいさな野草の咲く裏路地を抜けて公園に入り、池のカルガモに会釈して、シジュウカラやコゲラが鳴いては木をつつく音に安堵しながら歩く。

コロナの渦中には、マラソン人も陸上選手も姿を消した公園で、それこそ毎朝、夕と野鳥たちの声や姿がざわつく心を鎮めてくれた。春から初夏、それぞれの季節に芽吹き、花を咲かせる草花や樹木のささやかな変化に魅入る時間もあった。

この公園には多くの施設がある。でも、サッカーや陸上競技、テニスやラン、あるいは花見をする人たちだけが楽しみ、恩恵を受けているのではない。三ッ沢の名のもとに昔からの地下湧水がありせせらぎや小さな池、季節の花や訪れる虫たち、実の成る樹木や、枯れて巣穴に利用できる木々が多様にそろそろ。そこへ、いつもいてくれる小さな野鳥たちだけでなく、時にはカワセミ、モズやアオサギ、コサギ、アオゲラもくる。上空にはオオタカやチョウゲンボウの幼鳥も姿を見せ、春や秋のほんの数日の立ち寄り場として、レアな渡り鳥の姿を観察することもできる。春には小さな嘴にいっぱいのコケや草をくわえ、巣にやわらかなベッドを作るシジュウカラやエナガの親鳥たちや、生まれて初めて外を見るヒナの姿や声を感じることも。

そのような貴重な野鳥や虫たちの生態～循環も、樹木伐採や下草刈込等でこの数年目にしてることが減ってしまい無念だけれど、2023 母の日の頃、この公園で知る限り初めて、カルガモのヒナが8羽以上生まれ、6羽が無事、成鳥となってくれた。その営みや愛らしく成長する姿に、どれほど多くの人が心動かされ、励まされたことだろう。調べてみると、大きな車道に隣接するような都市公園でカルガモのヒナが成鳥になれる確率はかなり低く、ほぼ全滅のケースが多いらしい。

横浜駅からほど近いこの都市部の静かな住宅地の中で、多くの近隣の人たちに愛され、大切に利用されながらこれほど多種多様な動植物の存在を感じられるのは、この三ッ沢公園以外にはないと思う。これから先も永く、三ッ沢公園の存在が人間の娯楽だけに留まらず、この自然がさらに「ゆたかなひろがり」となり、さまざまな命のいとなみを紡いでいけるよう、たくさんの人の知見・アイデアを持ち寄り、公園維持の方策を、かかわる人たちと一緒に考えていきたい。

2023.ふゆ

うたつぐみ 記 (50代女性)

横浜市神奈川区



2023.5 カルガモおかあさんといっしょ @三ッ沢公園



2020.3 シジュウカラ 花にさえずり @三ッ沢公園

©うたつぐみ

僕の木はどうなってしまおうの？



私の孫は小学1年のとき、三ツ沢公園の「樹名板をつくる」イベントに参加しました。板の表面をバーナで焼いたあと、炭をこそぎ落とし、アクリル絵の具で樹名と絵を描きます。そして候補の中から選んだお気に入りの木に樹名板を掲げます。聞けば、このイベントは2018年から今にいたるまで続いており、樹名板をつけた木の数は、なんと450本に及ぶそうです。横浜市が計画している数万人規模の新しい球技場が建設されると、公園の西側エリアの約3分の1を占めるといいます。

5年にわたって450本の樹名板をつくったのは公園周辺の住民、それもほとんどが親子での参加です。いま5年生になった孫はサッカーに打ち込む毎日。でも新しいサッカー場の建設で、練習の場の自由広場がなくなったうえに自分の木が伐採されるとしたら、彼はそれをどう受け止めるのでしょうか。わたしたち大人は三ツ沢公園に豊かな自然を残すことが務めなのではないでしょうか。

70歳 峰沢町在住

6年

ぼくは、わががいの
 がすきです。どうしてかといえ
 とまったりカレー
 したの、^{おもしろい}ボールは、その、や
 はなびをしたり、~~た~~
 してあとむかしから
 とまったり、あそびで、^{たのしみ}
 あもい、このは、^{いじ}

おねがしします



おねがしします
 おねがしします
 おねがしします
 おねがしします



三ツ沢

なと

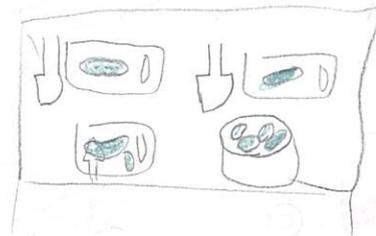
みづさけ公園の自然^{しな}を無くしてサッカー場を
 作るのは、絶対良くない。反対です。どこまで
 無くそうとしているのかは知らないけれど、トリムコースは
 毎日朝夜、走っている人もジョギングしている人も
 めちゃくちゃたくさんいるし、かめの池にはいつも散歩や
 あそびに来る小さい子供から、老人まで、たくさんいる。
 それらを、みんなからうはうのは良くない。自由広場だっ
 としても小さい子から大人までたくさんあそびに来ている
 場所だ。どんぐりをひろってあそんだり、サッカーしたり
 野球したり、キャッチボールをしたり、手もち花火をしたりと、
 たくさんいろんなことができる場所だし、
 野外活動センターも、バスリなど、合宿しにしたり、
 高学年のおとまり会や、普通のおとまり会で使わせて
 もらったりと、たくさんの人が利用している場所だ。
 テニスコートだ、たくさんの利用者がいるし、学校の
 部活で、テニスの試合でもたくさん利用されている
 場所になっている。それで、サッカー場を作るから
 という理由で、赤ちゃんから老人までのたくさんの人が
 が愛用しているみづさけ公園での日常や自然を
 なくすのは絶対反対だ。しかも今あるサッカー場
 だけでなく、土曜日に、みづさけ総合グラウンドの所や、
 いれいとうなどの場所を使っ、たくさんの車もちゅう車
 しているから、休日に親子などであそびたくてもあそべない
 状況で、多くの親子は、三ツ沢公園の自由広場や桜広場で
 たくさんの人があそんでいる状況になっている。
 自分は、この前 壘からの帰りで土曜日、横浜駅から、
 三ツ沢総合グラウンド入り口までのドスの便のたいき場では
 足らぬにかいたんもあり下の通りで、とてもなかい
 行列があって帰れなくなった。なとという、現在でも
 困っていたのに、サッカー場をこんな交通の便の悪い
 場所で作るのは絶対反対だ。もっと交通の便が良く、
 たくさんの人が利用しやすい場所を作ってほしい。
 おねがいします。なと

中学2年より

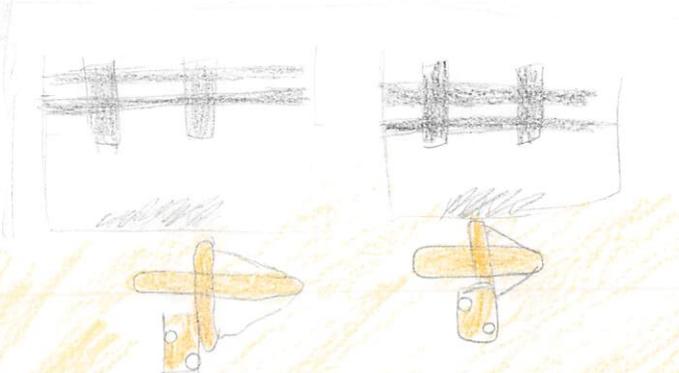
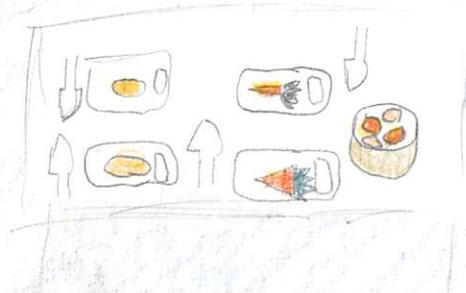
なくさないで
やかま



わたし



わたし



三ツ沢公園でたくさんあそぶ。

現在、もうすぐ3歳になる子を持つ母です。

生まれてからハイハイをする前からほぼ毎日三ツ沢公園へ散歩に来ていました。朝早くベビーカーで、抱っこで、

トリムコース沿いに池を通り、桜山を歩いていると、

散歩をしている地域のおじいちゃん、おばあちゃんが

話しかけてくださいました。普段2人きりで子育てしていると

地域の方々とお話できる時間が嬉しかったです。

息子が大きくなり歩き出すと、あそびが増え広がり、

池の前を通ると、カメザリガニがいるかをのぞきこんで、

刀モの親子やハトを追い一緒に歩いたりしていました。

今年は、地域の家族が集まり、野外活動センターでお泊まり会を

しました。普段中々できない野外での炊事体験は子どもたち夢中で

取り組んでいました。みんなで作り、みんなで食べるカレーライスが、

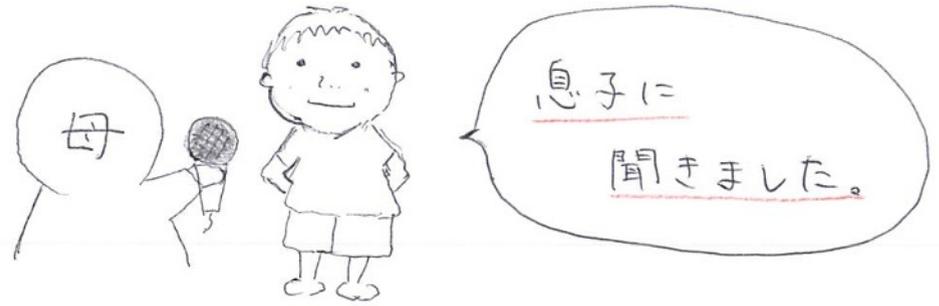
本当に美味しく、特別でした。息子がもっと大きくなり、友達と共に

また同じようにステキな体験を積み重ねてほしいです。これからの

子どもたちにとっての貴重な体験の場、人と人がつながる、

地域の大切な場所を失くさないで下さい。

今だから、これからにとって絶対に必要な場所、環境です。



三ツ沢公園 好き？

→ すき！

どこが一番好き？

→ 水のところ、とすべり台
(池)

何したのが楽しかった？

→ ザリガニ！ いっぱいみた。

お泊まりどうだった？

→ 楽しかった。またみんなで
おふる入りたいね～。



ほく

かたー



おとも
だち

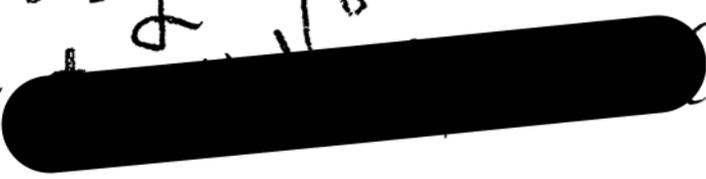
がかつ

はたの

しいよ



ぼくは、やがていかつとおセンター
が、すきで、まじうてかというボール
が、おえとかが、すきなごから、
せつたいい!!! けい、ないてね。
つづき

たいて、たしーがとまた
りして、しまんとーに、すき
だから、たさたさしほうにして
ください。せひおぬか
いいたします。
ねん  より

木々に囲まれた空間があると、
そこが、毎日多くの人々が利用している公園だと
認識していきながらも、木や池や人が集う広場など
それらを破壊してまで、無理やりそこにコンクリートの
建造物をつくらうと、考えているのですか？

三ツ沢公園の木々の多くは、50年〜70年を経て、大きく成長
しています。

特に 桜山は、花見の名所で我々を楽しませてくれます。
高く、ますぐに伸びる ヒメマヤ杉やヒノ木やケヤキやエノキや
イチョウは、夏の猛烈な暑さから、我々を守ってくれているの
です。ウォーキングやテニスや犬の散歩の途中で、それを
みなさん、大いに実感されていることでしょう。
春のさくらと同じく、晩秋の紅葉も美しく、これは神様の
おくり物ではないかと思えるくらいです。

たくさんの人々が三ツ沢公園を利用し、
自然を清喫し、癒やされ、地域の人々に愛されています。
こんな貴重な公園をなるべく今のまま残して下さ
お願いします。

60代 主婦

hello

三ツ沢公園をお散歩 されに北はありますか？

季節により変化可る空気・香り、樹木たちの表情・変化。

今はとてきれいに 1ヶ月の色付いています。

小鳥たちの さえずりの可愛く愛おしいと。

今日は池でチビ鴨ちゃんに会えに！ 嬉しいな！

子どもたち サッカー頑張っているな… あの子調子の悪いのかな？!

がんばれ～!!

最後に大樹に手をあてて、大きく深呼吸してパワー注入!!

この私の日々のルーティンです。

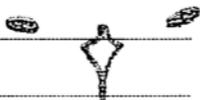
新しい建造物は必要ありません。

この憩いの場を奪わなくてほしい。

想像してください。

ご自分の大好きな・大切なルーティンの奪われたいことを。

そこに全ての答えがあると思います。



No.

Date

犬とのさんぽをお楽しんで
いる。公園の木々は貴重な
空間です。

ぜひ残してほしい

70代 自営業

貴重な樹木の

採採はいけない

20代、学生

三ツ沢公園は、緑がゆたかいて、子ども達も楽しく遊べる場所です。私自身も、よく、散歩に行ったり、友達と遊んだりしています。横浜という大都市の中で、こんなに緑がある公園は、三ツ沢公園だけと言えるくらい、三ツ沢公園は、とてもめずらしくて、とてもありがたい場所です。小さいころ、三ツ沢公園が近くにあって、自然にふれあうことができました。小学生のころ、えん足で三ツ沢公園に行って、どんぐりをひろった時が、楽しかったことを今でもおぼえています。また、イベントで、屋外活動センターでカレーを作ったり、樹名板を作ったりしました。それを通して、楽しい思い出を作り、また自然体験をたくさんすることができました。私の友達たちもみんな三ツ沢公園が大好きです。

きっとこれは、私や私の友達にかぎった
ことじゃないと思っ、ま、みんなが
思っていることです。それなのになぜ
三ツ沢公園のすてきな木を切ろうと
思うのですか。学校では、木を守ることが
大切だと、教えているくせに、なぜこん
なことをしようと思えるのですか。未来
があなたたちにかかると教えなが
ら、自分達は、教えていることの真逆のこ
とをやるのは、本当におかしいと思っます。
木は新しく植えるからとか、新しい川を
作るからというのは、やりかたが「おかし
」と思っます。そういう問題じゃないんです。
だって人を殺しても、新しく産めばいい
と、いっている人がいたらどう思っますか。
木とは、全然関係ない人と思っかもし
けません。でも、本当にそうなのですか。
木は生きていて、成長します。それなのに、

木は命じゃないのでしょうか。新しく、三ッ沢公園を開たくするのは、ほとんどの人が参せいしてはせん。だって、みんなが大好きな、三ッ沢公園の木を切、てまでして作ったきょう枝場をだれが喜ぶるのですか。今の時代、環境問題がしんこくに、進んでいるなか、よくも、木を切ろうと思えるなと思えます。大人としての、立^たばな^な姿を見せてほしいです。木を切る票、人じゃなくて思^い出^して、みてください。小さ^いころ、あなたは、家の近くに、自然ゆたかな、場所がありましたか。あつたとしたら、もう一度思^い出^してください。どんな思^い出^しがありましたか。楽しかった小さ^いな^なフーフのこと、ありませんでしたか。自然があまりなかつた人も、想像してみてください。もしも、自然がゆたかな公園があつたとしたら、それを今

あなたは、みんながうばおうとして、います。
あつたはずの、楽しい思い出を。木々の命を
子鳥たちの家を。すべてうばってまでして、
かいたくする必要は、あるのですか。

もう一度考えなおしてほしいです。

かわりに何かを作るといふ話は、
きたくないです。私の大好きな場所。
三ツ沢公園をこわさないでください。

横浜市在住 (13才)

三ツ沢公園の緑を守りたい!!

春は桜、秋はイチョウの黄色が輝き、もみじの色づく、
初夏は緑が美しい三ツ沢公園。お天気の良い日には
池のカメや石の上で甲羅と干しています。
緑の多い環境の中で散歩や運動、憩いの場所として
たくさんの人たちに愛されています。
野外活動センターは、子どもたちにとって給食と共に、
仲間づくりをしたり、火起こしや野外炊飯などの
様々な体験ができる貴重な場です。子どもたちの成長の
場です。

日々の生活の中で三ツ沢公園の緑は、空気を、
心を豊かにしてくれます。